



「2016TopGun/ダヴィンチキッズ 理科研究 中間発表会」



9月24日（土）、2016第2回浜松トップガン/浜松ダヴィンチキッズプロジェクトの課外講座「理科研究中間発表会」が静岡大学浜松キャンパス次世代ものづくり人材育成センターで行われました。受講者は、ダヴィンチキッズ13名、浜松市内の中学生14名、静大附属浜松中学生2名の計29名でした。

今回は、理科自由研究や科学部で研究してきたことの要点をまとめて、聞く人たちに分かりやすく説明しよう！に挑戦しました。それぞれ、パワーポイントとA4の配布資料を使って研究の発表を行いました。（一人当たり発表5分、質疑応答5分程度）

活動レポート



<発表前の打ち合わせの様子>

発表テーマ

1. 「佐鳴湖の水質調査及び浄化」 浜松西高等学校中等部2年
2. 「いろいろな水の違いを調べよう② 川の水の違い」 浜松市立庄内小学校5年
3. 「アカハライモリが壁にくっつく力と脱走を防げる材料の研究」
浜松市立曳馬小学校5年
4. 「芳川小学校区の果てまで行ってQ！」 浜松市立芳川小学校6年
5. 「テニスでボールを狙った位置に入れるには？」 浜松市立新津小学校6年
6. 「みその事いろいろ パート4」 浜松市立和田小学校6年
7. 「水中からの金属の回収」 浜松西高等学校中等部1年

8. 「塩素と植物」浜松市立積志中学校 1年
9. 「缶の転がる速度について」浜松市立高台中学校 1年
10. 「塩害実験（2年目）とひょうたんの観察日記（5年目）」
浜松日体中学校 2年
11. 「免震耐震実験～災害での被害のない社会を目指して～」
浜松市立高台中学校科学部 1年
12. 「双竜の池の微生物～双竜の池に生息する微生物とプランクトンの研究～」
浜松市立高台中学校科学部 2年
13. 「微生物から考える四ッ池公園・双竜の池」浜松市立高台中学校科学部 2年
14. 「しじみんの森の測量から調査まで(中間報告)」
浜松市立蛸塚中学校理科研究部 2年
15. 「蛸塚中”しじみんの森”と付属中”天神の森”の二酸化炭素吸収量について」
浜松市立蛸塚中学校・附属浜松中学校合同チーム



<蛸塚中学校科学部の発表>



<高台中学校科学部の発表>



<2つの中学校の科学部と理数クラブが合同研究したものを発表>

研究してきた内容を相手にわかりやすく伝えるために、どの図、グラフを使って説明するのか、実験の条件は？について、個人やグループで工夫しながら伝えました。相手に伝えることの難しさと同時に楽しさも味わいました。1/21のプレゼン大会にむけての課題が見つかったと思います。



＜発表後の質疑応答の様子＞

お知らせ

（予告）「第1回 小・中学校理科研究プレゼンテーションコンテスト」インターネットによる応募について

**第1回小・中学生理科研究
プレゼンテーションコンテスト**
～ 理科研究の成果を競う真剣勝負に参加しよう ～

夏休みの自由研究や科学部での研究など、理科の研究に興味をもって取り組んでいる皆さんが、その成果を披露し、**研究内容や発表技術を競うコンテスト**です。個人の部、グループの部のそれぞれで最優秀賞、優勝賞を選んで表彰します。ふるってご参加ください。

主催：長期的教育システム研究チーム（浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会）
共催：静岡大学、浜松科学館
後援：浜松市教育委員会、湖西市教育委員会、磐田市教育委員会、袋井市教育委員会、森町教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社
対象：小学5年生から中学2年生までの個人、グループ、科学部による理科研究

日時：2017年1月21日（土）
会場：浜松科学館
応募：トップガンホームページ（<http://topgun.ed.shizuoka.ac.jp/>）から
2016年11月30日12時（厳守）までに申し込んでください。

浜松市教育長 花井和徳先生からのお言葉
社会は目まぐるしい勢いで変化しています。さまざまな分野で国境を越えた結びつきが強くなる社会を生きる皆さんは、日本だけではなく、世界を視野に入れながら考えていくことが求められます。これからの時代は、自分の考えたことを自分だけが分かっていたらいいという段階でよしとせずに、いかに人を説得し、仕事や社会貢献に結びつけるかが必要となります。本大会を通して、理科で追究した内容をわかりやすく相手に伝える、という自己表現と意思疎通の能力向上と、発表を通じた児童・生徒同士の真剣勝負の場を期待します。

磐田市教育長 村松啓至先生からのお言葉
グローバル化、少子高齢化が進む社会の中で、私たちが日本人として求められているものは何か。それは、「たくましさ」であると考えています。「たくましさ」は、まずは、挑戦することができることであると考えています。まずは、このコンテストに挑戦し、やがては「世界に生きる 地域に生きる 自分を生きる」たくましい人へと成長してほしいと心から願っています。

事務局
国立大学法人静岡大学 浜松市中区布橋3丁目2-2
教育学部附属浜松中学校内トップガン 担当（平井）
TEL 053-456-1331
※ お問い合わせは、月曜、水曜、金曜の10時～16時

浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会 長期的教育システム研究チームでは、小・中学生を対象とした理科自由研究の発表会を開催いたします。小・中学生の個人・グループ・科学部による理科研究（物理、化学、生物、地学、数学、環境）の独創的・創造的な研究発表を期待します。大会は、相手に自分の研究したことをわかりやすく伝える理科研究プレゼンテーションコンテストになります。多くの皆さんの応募をお待ちしています。



応募には事前申込が必要です。

ホームページ（<http://topgun.ed.shizuoka.ac.jp/>）にある応募方法より（申し込み期間10月3日10時から、締切11月30日12時（厳守））までにお申込ください。

編集部子ども記者より

1学期から行ってきた追及の中間発表を行いました。言いたいことを簡潔に言い表すということは大変でした。言いたいことが多すぎて、順序良く説明することが、特に難しいことでした。また、蜷塚中学校と合同で発表しましたが、附属中学校と蜷塚中学校の連携があまりうまくいかず、『連携』が今後の課題となりました。また、プレゼン自体も改良の余地がたくさん見えました。他校の発表のいいところなども吸収し、より質を上げていきたいです。

これらの課題を今後改善し、1月のコンテストに万全な状態で臨めたらと思います。

トップガンジャーナル子ども記者
中学2年 竹内理人 山本康誠